



JAPANESE B – STANDARD LEVEL – PAPER 1
JAPONAIS B – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 1
JAPONÉS B – NIVEL MEDIO – PRUEBA 1

Tuesday 2 November 2004 (morning)
Mardi 2 novembre 2004 (matin)
Martes 2 de noviembre de 2004 (mañana)

1 h 30 m

TEXT BOOKLET – INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for Paper 1.
- Answer the questions in the Question and Answer Booklet provided.

LIVRET DE TEXTES – INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

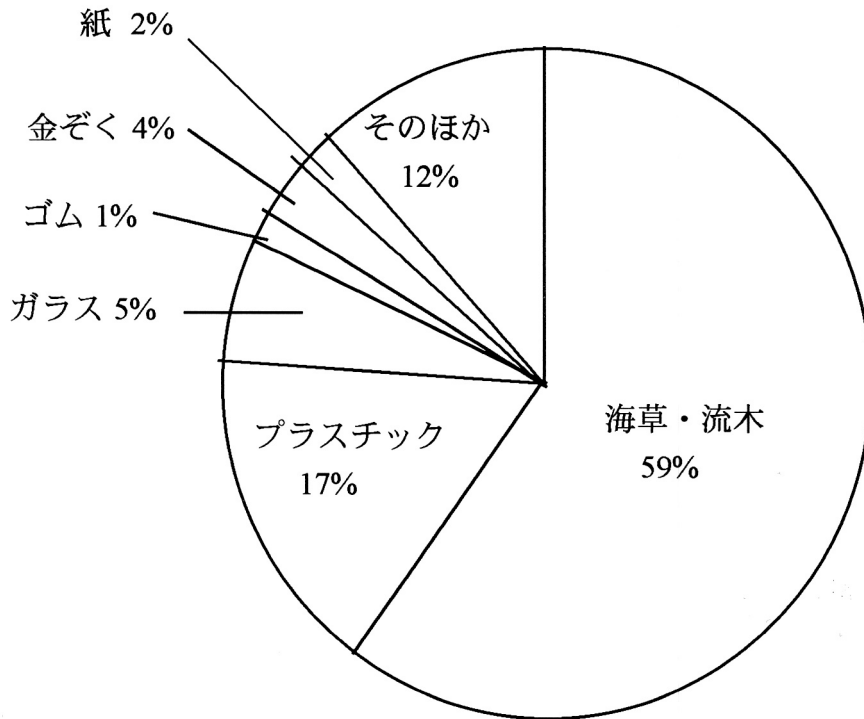
CUADERNO DE TEXTOS – INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la Prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

セクション A

問題 A

海辺のごみ、多いのは飲み物の容器ようき



海で遊べる季節になりました。四方を海にかこまれている日本は、海岸線とても長くて、35,000 キロぐらいあります。

去年はじめて、全国の380の海岸で、ごみの調査が行われました。円グラフは、この調査で見つかったごみのしゅるいです。

重さでくらべてみると、一番多かったのは海草や流木類(59%)でしたが、のこりの41%はプラスチックやガラスなど、人がすてたごみでした。特に多かったのは飲み物用の容器ようき(注1)です。金ぞくせいの飲み物の容器は203の海岸で、ガラスせいののは181の海岸で、プラスチックせいののは173の海岸で見つかりました。

注1 容器ようき=入れ物

問題 B

忘れ物

二十年ぐらい前、夫は高校の教師だった。修学旅行は長崎^{ながさき}で、夫は生徒達^{せいとたち}がおつた千羽づるを持って行くことになっていた。朝早く家を出て働いていた私に昼間、母から電話があつた。夫が千羽づるを忘れたと言う。

出発からもう四時間たっている。私はどうしたらいいか、分からなかったが、仕事場の友達が、

「飛行機でおいかけたら。」

「平和公園は明日だから、夜行列車に乗ったら。」

と、言ってくれた。けつきよく、一時間後の列車に乗ることにした。

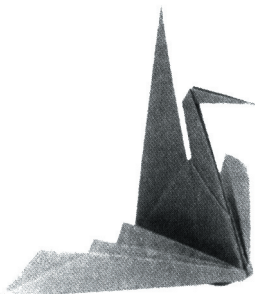
母に千羽づるを持って来てもらって、私は駅まで車をとばした。ホームには、おおぜいのカメラマンが待っていた。駅が新聞社に知らせたから来たのだ。

次の日の新聞に、「先生、千羽づるを忘れる」という記事と、私の写真ものつた。

下を向いていたので、私の写真に気づいた人はいなかったし、夫の名前ものらなかった

ので、あまり人に知られないでよかった。

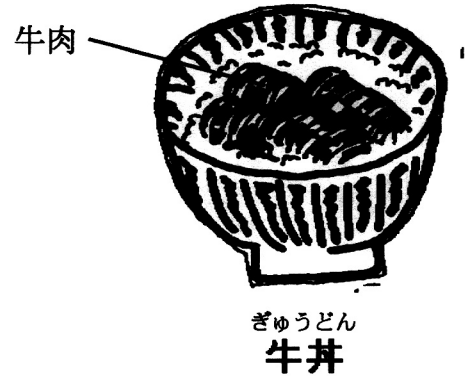
田中淳子^{じゅんこ}



つる

広島や長崎^{ながさき}の平和公園へ行く時、
千羽作って持って行く。

問題 C



ぎゅうどん きえる 牛丼

じきゅうりつ 自給率を考え直す機会に

私は新聞やテレビのニュースなどで、アメリカからの牛肉の輸入をやめたので、
ぎゅうどん はんぱい 牛丼の販売をやめたことを知りました。牛丼が好きでよく食べていた人は、
「まだ売っている所をさがして食べに行きたい。」
などと言っていました。

私も牛丼が好きで、食べていました。高くないし、とてもおいしいので、牛丼をこれからも作ってほしいと思っています。しかし、牛丼を売っている店では、アメリカの牛肉を使わないと、今までのような値段で、売ることができないそうです。オーストラリアからの牛肉では高くなってしまし、味もアメリカのとくらべて、悪くなってしまそうです。

もし、日本の自給率（注1）が高ければ、牛丼が作れたかもしれません。なぜ日本はこのような問題が起こっても自給率について考え直そうとしないのでしょうか。自給率はそう簡単には上げられないことは分かっています。でも、これを機会に、日本も自給率の問題を考え直したらいいと思います。

近藤まゆみ

注1：自給率＝その国の食べ物のうち、その国で作っている%

セクション B

問題 D

さがみ 相模の大だこセンター



神奈川県さがみの相模市に、12 m²の大きなたこてんじを展示した「相模の大だこセンター」がオープンしました。

地元では、170年前から、大きなたこさがみをあげる「相模の大だこまつり」が行われています。(今年は5月4日、5日)。100人ぐらいの人が力を合わせて、大だこをあげます。その歴史を守ろうと、センターができました。

日本や外国のたこが約100点展示されていて、土曜日や日曜日、祝日には、たこ作り教室が開かれます。ビデオを使って、大だこの作り方も説明しています。

家族でたこ作りに来た橋本京子さんは「すごい。こんなに大きいとは思わなかった。」とびっくりしていました。お父さんも「たこの作り方がよく分かって、勉強になった。」と話していました。

センターはJRの相模線さがみの相武台下駅そうぶだいしたから歩いて10分ほどです。年末年始以外は、いつも開いています。入場は無料です。お問い合わせは046-255-1313へ。